

平成28年度 福祉教育委員会夏季研修報告

福祉教育委員会

- 1 実施日時 平成28年8月5日（木）
- 2 参加者 民生委員9名・社協7名・教育関係者4名・教員8名・社会教育関係4名 計32名
- 3 講師 原田 正樹（はらだ まさき） 社会福祉学博士・社会福祉士
所属 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 放送大学兼任教授

4 実施内容

○講演「共に生きる力を育む福祉教育」

- ・福祉教育の展開・変化
- ・福祉教育の目的について
- ・新しい福祉観
- ・福祉教育の教育効果

○事例発表

- ・福祉教育委員会
- ・諏訪清陵高等学校附属中学校

○パネルディスカッション

コーディネーター 原田 正樹

パネリスト： 諏訪清陵高校附属中学校教諭 武井 淳子
諏訪市社会福祉協議会 戸崎 洋子
福祉教育委員会 上條 英男



5 参加者の声

○初めて参加しました。「ICFの視点を導入した学習」「創造的リフレクション」の考え方やそれに基づく実践がとても新鮮でした。子どもたちにとって大切な視点をいただきました。実践に結びつけたいと思います。もっと話したい もっと知りたい もっとつながりたい と思えるような学習の構想をしたいと思えます。

○2校の実践ともに社協の皆さんとの綿密なる打ち合せがなされている点からも多くのことを学びました。私たち教師は日々の忙しさもあって計画的に見通しを持って取り組むことがなかなかできず単発的な実践になってしまうことが多い中、長期にわたる実践に感銘しました。地域と共にある学校となるためにも、学校・施設・社協が今以上に連携して福祉教育を進めていくことが求められていることがわかりました。

○自然に講演会から実践発表、パネルディスカッションへとつながりをもって流れていき、参加しやすく考えさせられるものでした。福祉教育もそうだが、子どもたちは自分を大切にできたり自分のことを客観視したり、他者への関わり方を学んだり学びが広がるのが大切だと感じられた。福祉教育の現状を知る機会として続けていって欲しい。

6 成果・反省など

- ・諏訪市社会福祉協議会が市内の小・中学校の職員を対象にしている「社会福祉普及校懇談会」を、諏訪社会福祉協議会と連携して諏訪郡内の全学校職員を対象とした研修会として実施することができ、大勢の方に聴講していただくことができた。
- ・諏訪清陵高校附属中学校の実践発表がすばらしかった。また連携をはかりたい。
- ・何年か続けてきたこともあり、他の機会でも実践発表を行なうさそいをいただくことができた。着実に実践を積み重ねて、様々な機会で紹介していきたい。
- ・今年度は実践記録・パネルディスカッションを行なった。発表の携帯も工夫していきたい。
- ・毎年講演の内容がとてもよいので多くの方が参加できるような方法を考えたい。